中国自然歩道 願掛岩

この巨大な丸石は願いをかなえる力があることで崇められている。むかし茂兵衛という農夫が現在の琴浦にある野井倉に住んでいた。あるとき困りごとがおこり、茂兵衛は大山寺まで祈祷するために旅に出た。帰路に大山寺の子院である真性院を通りかかると、年老いた僧侶が茂兵衛を呼びとめた。僧侶は茂平に豪円山にある呼瀧への道に沿って進めば谷間に大きな岩が見えるので、そこで頂上部にある金門（境内への入口である神聖な割れ目）の砂利から石を拾って供え、自分の願いを一心に祈るようにと教えた。茂兵衛が教えられた通りにすると、彼の願いは即座に叶ったという、この土地の言い伝えがある。

 訪れる者たちは今もここで丸石の上に石ころを載せて願掛けをする。おそらく願掛地蔵で知られる右側の地蔵菩薩が願掛けをする人々に力を貸しているのだろう。